

国立大学図書館協会
公立大学図書館協会 会員館各位
私立大学図書館協会

国公私立大学図書館協力委員会
大学図書館研究編集委員会

『大学図書館研究』第 130 号刊行について

この度、『大学図書館研究』第 130 号を刊行いたしました。今号では、小特集「AI・DX」論文のほか、2025 年度大学図書館シンポジウム「オープンサイエンス時代におけるデジタル・コンテンツ基盤の構築：国立国会図書館と大学図書館の連携・協力によってもたらされる未来」の報告、一般論文など、全 12 論文を掲載しています。

貴館内で広くご周知いただくとともに、日々の業務や今後の取り組みにご活用いただければ幸いです。引き続き、本誌へのご投稿ならびにご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

■第 130 号目次

【小特集：AI・DX】

- ・「AI が解説！新潟大学の研究」
—AI による機関リポジトリコンテンツの活用—
- ・バイブコーディングを用いた図書館サービスにおけるアウトプット支援の試作と予備的評価
—犯罪被害者支援シナリオを用いた検討—
- ・岡山大学図書館におけるローコード開発とローカル AI を活用した業務効率化の取り組み
- ・論理構造としてのライブラリー・スキーマの整理
- ・非ラテン文字資料の書誌作成における AI 活用
—アラビア語資料を事例に—
- ・生成 AI を用いたバイブコーディングは大学図書館業務の改善に寄与するか
—エンドユーザーコンピューティングにおける技術的負債と検証能力の課題—

【論文】

- ・研究データ公開を支える組織横断的な知識・人材共有基盤
—Data Curation Network 参加機関への訪問調査等から—
- ・チャールストン会議アジア 2026 参加報告
- ・通信制大学の特徴を活かした遠隔図書館サービスのあり方
—放送大学附属図書館の取組—
- ・大学図書館におけるライブラリー・スキーマの構築
—筑波大学附属図書館における検討プロセスを通じて—
- ・オープンアクセス時代における商業出版社との集団交渉
—ドイツ・フランス・英国の比較事例研究—

【国公私立大学図書館協力委員会ニュース】

2025 年度大学図書館シンポジウム

「オープンサイエンス時代におけるデジタル・コンテンツ基盤の構築
：国立国会図書館と大学図書館の連携・協力によってもたらされる未来」

【編集後記】